

資料編

1. 策定経緯

(1) 計画策定（改定）の検討体制

- ① 熊本城復旧基本計画策定委員会
- ② 熊本城復旧基本計画検証委員会

(2) 計画推進の検討体制

- ① 特別史跡熊本城跡保存活用委員会
・ 熊本城文化財修復検討委員会
- ② 熊本城復旧推進会議

(3) 計画推進のあゆみ

- ① 短期施策期間における建造物・石垣の事業進捗率
- ② 主な出来事
- ③ 熊本城復元整備基金の実績
- ④ 復旧状況における主な報道実績
- ⑤ 視察対応・講演等の実績

(4) 市民参画

- ① オープンハウス
- ② ワークショップ
- ③ 市民シンポジウム～100年先を見据えた復元への礎づくり～
- ④ 熊本城復旧基本計画啓発イベント

2. 用語集

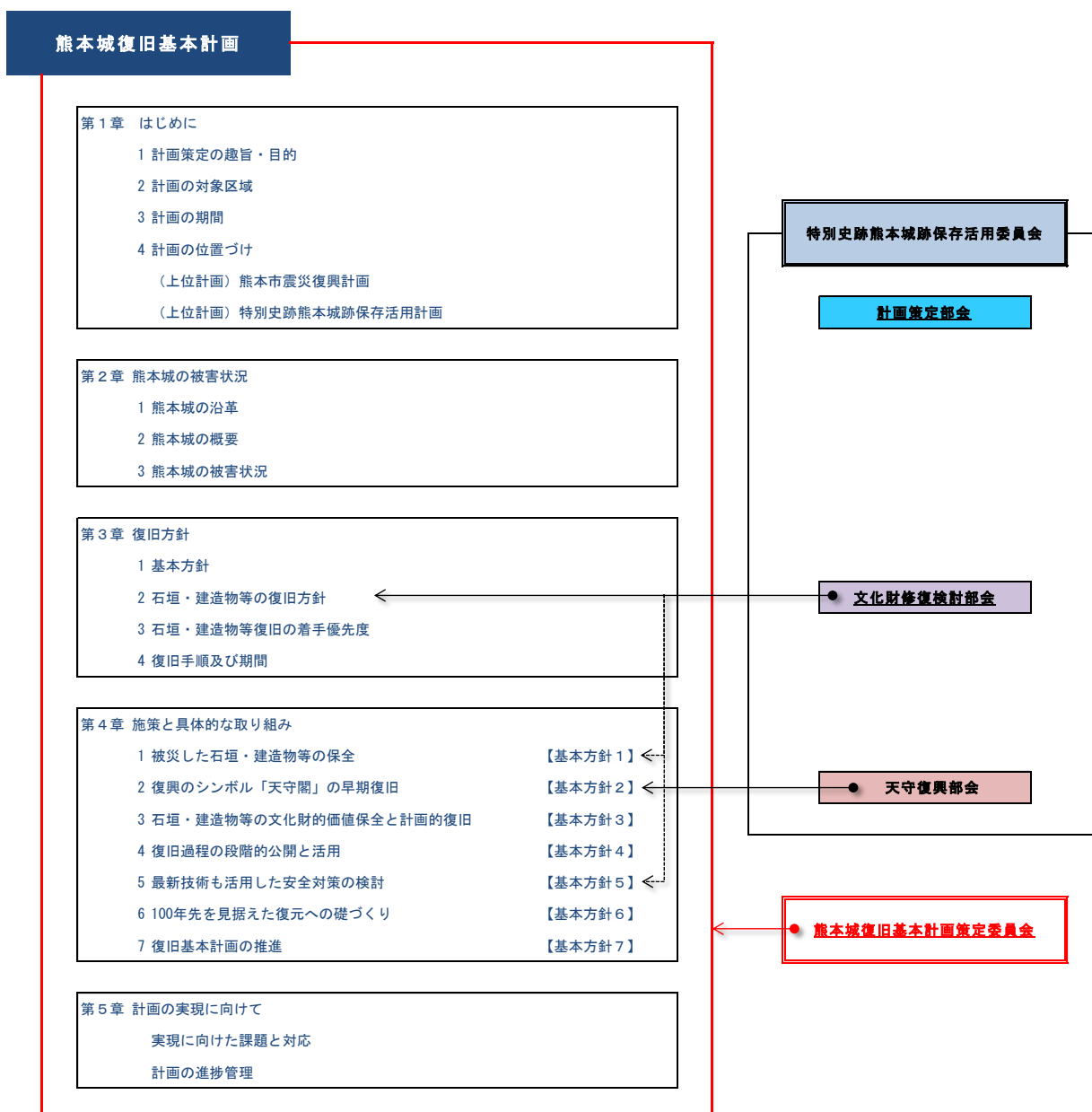


1.策定経緯

(1) 計画策定（改定）の検討体制

① 熊本城復旧基本計画策定委員会

「熊本城復旧基本計画策定委員会」は、熊本地震により被害を受けた、熊本城の復旧に必要な施策等に関すること、また復旧基本計画の策定に関することなどを検討することを目的として、平成29年4月に設置しました。設置以降、「特別史跡熊本城跡保存活用委員会」や国県等の関係機関と連絡・調整しながら、審議を行ってきました。



i) 委員名簿

任期：平成 29 年（2017 年）4 月 1 日から 平成 30 年（2018 年）3 月 31 日

（敬称略・50 音順）

	氏名	役職等	分野	委員長・副委員長
1	いしはら てるひと 石原 彰人	日本旅行業協会熊本支部長 （JTB 熊本支店長）	観光	
	まつだ しゅういち 松田 秀一（※）			
2	ささき のぶゆき 佐々木 信文	公募委員	市民	
3	たがわ けんせい 田川 憲生	熊本商工会議所会頭	経済界	
4	たなか てつお 田中 哲雄	日本城郭研究センター名誉館長	歴史学 （石垣）	
5	ひらい きよし 平井 聖	東京工業大学名誉教授 昭和女子大学名誉学長	建築学 （日本建築史）	
6	やすだ じろう 安田 二郎	熊本市中心商店街等連絡協議会会長	中心商店街	
7	みの も としたろう 蓑茂 壽太郎	東京農業大学名誉教授 熊本市都市政策研究所所長	造園学	委員長
8	むらかみ とよき 村上 豊喜	熊本市文化財保護委員会委員長	歴史学 （中世史・文化財）	
9	もうり ひでし 毛利 秀士	一新校区自治協議会会長	地元地域	
10	よしまる りょうじ 吉丸 良治	熊本県文化協会会長	文化	副委員長
11	わだ あきら 和田 章	東京工業大学名誉教授 防災学術連携体代表幹事	建築学 （耐震工学）	
12	わたなべ かずのり 渡邊 一徳	熊本県文化財保護審議会委員長 熊本大学名誉教授	地質学	

※平成 30 年 2 月 1 日付けで委員交代

ii) 熊本城復旧基本計画策定委員会の開催状況

第1回委員会	【開催日時】 平成29年5月8日（月曜日） 13時30分から 【開催場所】 熊本市役所議会棟2階 議運・理事会室 【会議概要】 1 名称 熊本城復旧基本計画策定委員会（第1回） 2 議事等 1) 委員委嘱、委員長選出 2) 熊本城復旧基本計画の検討体制等について 3) 石垣・建造物等の復旧手順の考え方について
第2回委員会	【開催日時】 平成29年9月14日（木曜日） 13時30分から 【開催場所】 桜の馬場城彩苑 2階多目的交流室 【会議概要】 1 名称 熊本城復旧基本計画策定委員会（第2回） 2 議事等 1) 熊本城復旧手順及び公開エリア（案）について
第3回委員会	【開催日時】 平成29年10月26日（木曜日）13時30分から 【開催場所】 熊本市役所議会棟2階 議運・理事会室 【会議概要】 1 名称 熊本城復旧基本計画策定委員会（第3回） 2 議事等 1) 復旧過程の公開等について
第4回委員会	【開催日時】 平成29年12月16日（土曜日）13時30分から 【開催場所】 熊本市役所別館（駐輪場）8階大会議室 【会議概要】 1 名称 熊本城復旧基本計画策定委員会（第4回） 2 議事等 1) 熊本城復旧基本計画素案について
第5回委員会	【開催日時】 平成30年2月19日（月曜日）13時30分から 【会議概要】 1 名称 熊本城復旧基本計画策定委員会（第5回） 2 議事等 1) 熊本城復旧基本計画（案）について

② 熊本城復旧基本計画検証委員会

「熊本城復旧基本計画検証委員会」は、短期施策の終了年における計画の改定にあたり、計画の検証及び変更について審議することを目的として、令和4年4月に設置しました。委員会の開催にあたっては、国県等の関係機関と連絡・調整しながら、審議を行ってきました。

i) 委員名簿

任期：令和4年（2022年）7月1日～令和5年（2023年）3月31日

（敬称略・50音順）

	氏 名	分 野	役 職 等	委員長・ 副委員長
1	いとう りゅういち 伊東 龍一	建築学 (日本建築史)	熊本大学大学院 教授 (特別史跡熊本城保存活用委員会 委員長)	
2	きたの ひろし 北野 博司	考古学 (石垣)	東北芸術工科大学 教授 (熊本城文化財修復検討委員会 石垣ワーキング長)	
3	さかもと ひろし 坂本 浩	経済・観光	熊本商工会議所 専務理事	
4	はら きよこ 原 幸代子	文化	熊本県文化協会 副会長	
5	みうら るり 三浦 瑠璃	公募委員		
6	みの も としたろう 蓼茂 壽太郎	造園学	東京農業大学 名誉教授 (熊本城復旧基本計画策定委員会 委員長)	委員長
7	やまお としたか 山尾 敏孝	土木工学 (歴史遺産)	熊本大学 名誉教授 (熊本市文化財保護委員会 委員長 熊本城文化財修復検討委員会 委員長)	副委員長

ii) 熊本城復旧基本計画検証委員会の開催状況

第1回委員会	【開催日時】 令和4年(2022年)7月29日(金) 14時00分から 【開催場所】 桜の馬場城彩苑 多目的交流施設 【会議概要】 1 名称 第1回熊本城復旧基本計画検証委員会 2 議事等 1) 現在までの実施状況 2) 「短期計画工程」及び「施策と具体的な取り組み」に関する検証 3) 石垣・建造物等の復旧に関する検証及び課題の整理 4) 復旧過程の段階的公開と活用に関する検証及び課題の整理 5) 今後のスケジュール
第2回委員会	【開催日時】 令和4年(2022年)12月7日(水) 14時00分から 【開催場所】 桜の馬場城彩苑 多目的交流施設 【会議概要】

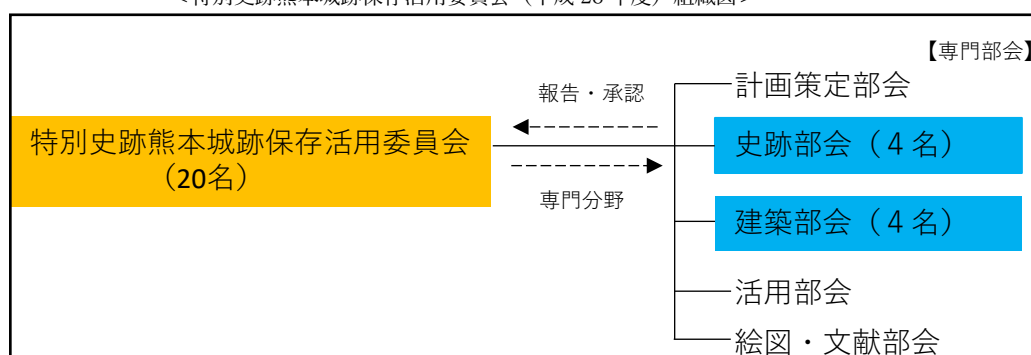
	1 名称 第2回熊本城復旧基本計画検証委員会 2 議事等 1) 第1回委員会における主な意見 2) 熊本城の復旧状況 3) 熊本城復旧基本計画 全体工程の検証結果 4) 熊本城復旧基本計画 改定素案（概要） 5) 今後のスケジュール
第3回委員会	【開催日時】 令和5年(2023年)3月23日(木) 10時00分から 【開催場所】 桜の馬場城彩苑 多目的交流施設 【会議概要】 1 名称 第3回熊本城復旧基本計画検証委員会 2 議事等 1) 熊本城復旧基本計画改定案について

(2) 計画推進の検討体制

① 特別史跡熊本城跡保存活用委員会・熊本城文化財修復検討委員会

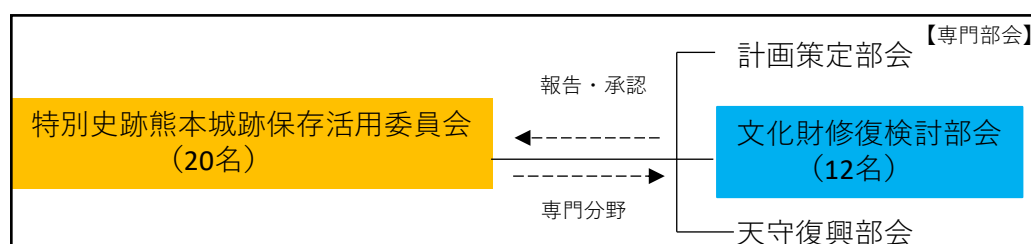
「特別史跡熊本城跡保存活用委員会」は、今後の熊本城の保存と活用のあり方について、文化財保護、熊本城の魅力づくり、地域の活性化などの観点から幅広く総合的に検討するため、平成 21 年 4 月に設置しました。委員会と各専門部会の構成について、平成 28 年度までは「計画策定部会」「史跡部会」「建築部会」「活用部会」「絵図・文献部会」と 5 つの部会を設置していました。

<特別史跡熊本城跡保存活用委員会（平成 28 年度）組織図>



その後熊本地震を受けて、平成 28 年熊本地震以前の復元整備について幅広く検討する体制から復旧事業に求められる専門的かつ迅速な検討を行うための部会への改編が必要となったことから、平成 29 年度は災害復旧事業を円滑に進めるために「(旧) 史跡部会」と「(旧) 建築部会」を統合して「文化財修復検討部会」へ、さらに天守閣の早期復旧に向け、「(旧) 活用部会」と「(旧) 絵図・文献部会」を統合して「天守復興部会」へと改編し、結果 3 つの部会としました。

<特別史跡熊本城跡保存活用委員会（平成 29 年度）組織図>



・文化財修復検討部会 平成 29 年度（2017 年度）開催記録

第 1 回部会	【開催日時】 平成 29 年 6 月 1 日（木曜日）13 時 30 分から 【開催場所】 熊本市教育センター 2 階 中研修室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会文化財修復検討部会（第 1 回） 2 議事等 1) 天守閣復旧整備事業について 2) 石垣及び建造物の復旧手法について 3) その他
---------	---

第2回部会	【開催日時】 平成29年9月28日（木曜日）9時30分から 【開催場所】 熊本市教育センター4階 大研修室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会文化財修復検討部会（第2回） 2 議事等 1) 熊本城復旧の取り組み状況について 2) 天守閣復旧整備工事について 3) その他
第3回部会	【開催日時】 平成29年12月25日（月曜日）9時30分から 【開催場所】 熊本市教育センター4階 大研修室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会文化財修復検討部会（第3回） 2 議事等 1) 文化財修復検討部会の進め方について 2) 天守閣復旧整備工事について 3) 飯田丸五階櫓石垣復旧工事について 4) その他
第4回部会	【開催日時】 平成30年3月30日（金曜日）9時30分から 【開催場所】 熊本市教育センター4階 大研修室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会文化財修復検討部会（第4回） 2 議事等 1) 天守閣復旧整備工事について 2) その他

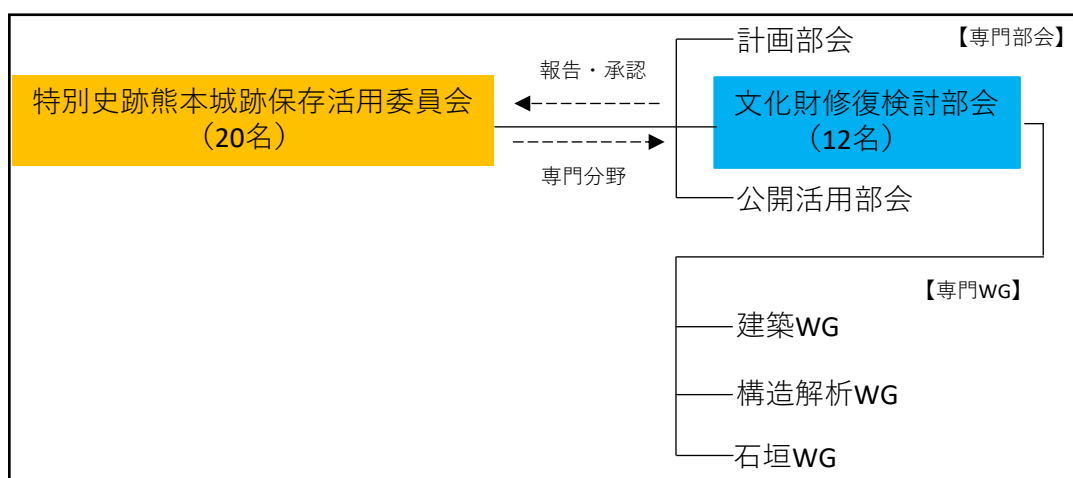
・天守復興部会 平成29年度（2017年度）開催記録

第1回部会	【開催日時】 平成29年4月17日（月曜日）15時30分から 【開催場所】 桜の馬場 城彩苑 多目的交流室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会天守復興部会（第1回） 2 議事等 1) これまでの経緯 2) 耐震化について 3) バリアフリー化・ユニバーサルデザインについて 4) 内装・展示の刷新について
第2回部会	【開催日時】 平成29年6月9日（金曜日）13時30分から 【開催場所】 県伝統工芸館 地下会議室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会天守復興部会（第2回） 2 議事等 1) 熊本城天守閣復旧整備事業（展示）について 2) 熊本城展示たたき台について
第3回部会	【開催日時】 平成29年8月18日（金曜日）14時00分から 【開催場所】 熊本市役所 議会棟2階 議運・理事会室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会天守復興部会（第3回） 2 議事等 1) 天守閣展示の検討状況について 2) 天守閣展示と関連施設との連携・補完について 3) 展示構成案・ゾーニング案について

第4回部会	【開催日時】 平成29年10月23日（月曜日）14時00分から 【開催場所】 熊本市役所 議会棟2階 議運・理事会室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会天守復興部会（第4回） 2 議事等 1) 天守閣展示の検討状況について 2) 展示ゾーニング案について 3) 展示イメージパース、城下町模型、触察模型手法、AR／VR手法について
第5回部会	【開催日時】 平成30年1月15日（月曜日）14時00分から 【開催場所】 熊本市教育センター4階 大研修室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会天守復興部会（第5回） 2 議事等 1) 天守閣展示の検討状況について 2) これまでの審議内容の確認・承認事項について

部会を統合した結果、専門的かつ迅速な検討が可能となりましたが、特に石垣復旧検討に際し、現地視察等、個別専門分野の審議が必要な検討事項が増加したため、平成30年度は、文化財修復検討部会の下に建築WG（ワーキンググループ）、構造解析WG、石垣WGを設置し、専門的かつ詳細な検討を行いました。

<特別史跡熊本城跡保存活用委員会（平成30年度）組織図>



・文化財修復検討部会 平成30年度（2018年度）開催記録

第1回部会	【開催日時】 平成30年7月20日（金曜日）13時30分から 【開催場所】 熊本市教育センター 4階大研修室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会文化財修復検討部会（第1回） 2 議事等 1) 天守閣復旧整備工事について（報告） 2) 石垣安全対策について（報告） 3) 大天守石垣復旧について（報告） 4) 長堀復旧について（報告） 5) その他
-------	--

第2回部会	【開催日時】 平成30年10月18日（木曜日）9時30分から 【開催場所】 熊本市民会館シアーズホーム夢ホール 第6会議室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会文化財修復検討部会（第2回） 2 議事等 1) 石垣・構造解析合同ワーキングについて（報告） 2) 構造解析ワーキング（報告） 3) 石垣ワーキング（報告） 4) その他
第3回部会	【開催日時】 平成31年3月28日（木曜日）9時30分から 【開催場所】 熊本市教育センター4階 大研修室 【会議概要】 1 名称 特別史跡熊本城跡保存活用委員会文化財修復検討部会（第3回） 2 議事等 1) 石垣・構造解析合同ワーキング（報告） 2) 構造解析ワーキング（報告） 3) 石垣ワーキング（報告） 4) その他

・専門ワーキング 平成30年度（2018年度）開催記録

構造解析ワーキング	第1回	平成30年5月1日
石垣ワーキング	第1回	平成30年5月28・29日
構造解析ワーキング	第2回	平成30年6月4日
石垣ワーキング	第2回	平成30年6月29日
石垣ワーキング	第3回	平成30年7月20日
石垣ワーキング	メール審議	平成30年8月7日
石垣ワーキング	メール審議	平成30年8月31日
構造解析ワーキング	第3回	平成30年9月27日
合同（石垣・構造）ワーキング	第1回	平成30年9月27日
石垣ワーキング	第4回	平成30年9月27日
石垣ワーキング	第5回	平成30年12月25日
合同（石垣・構造）ワーキング	第2回	平成30年12月25日
構造解析ワーキング	第4回	平成31年1月29日
石垣ワーキング	第6回	平成31年1月29日
合同（石垣・構造）ワーキング	第3回	平成31年1月29日
構造解析ワーキング	第5回	平成31年3月5日
石垣ワーキング	第7回	平成31年3月5日
合同（石垣・構造）ワーキング	第4回	平成31年3月5日

・特別史跡熊本城跡保存活用委員会委員名簿（平成 29・30 年度）

（任期：平成 29 年（2017 年）4 月 3 日～平成 31 年（2019 年）3 月 31 日）

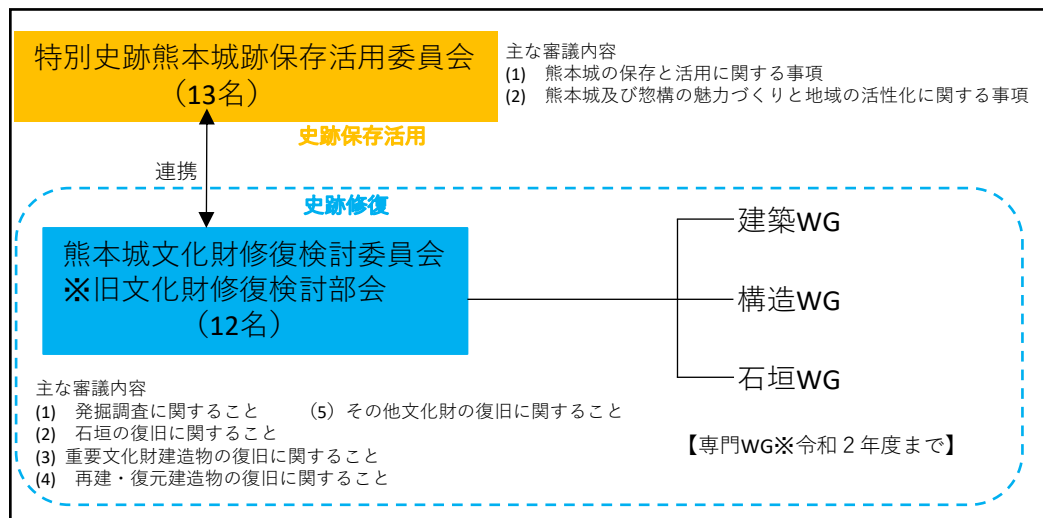
（50 音順、◎委員長、○委員長代理、㊦計画策定部会長、㊧文化財修復検討部会長、㊨天守復興部会長）

氏名	役職等	分野	専門部会
㊦伊東 龍一	熊本大学大学院先端科学研究部教授	建築学	文化財／天守
伊東 麗子	樹木医	植 物	計画策定
㊦今村 克彦	元熊本県文化財保護審議会委員	考古学	計画／天守
北野 博司	東北芸術工科大学 歴史遺産学科長	考古学	文化財修復
北原 昭男	熊本県立大学環境共生学部居住環境学科教授	建築学	文化財修復
千田 嘉博	奈良大学 文学部教授	考古学	計画／文化財
㊦田中 哲雄	（姫路市）日本城郭研究センター名誉館長	歴史学	計画／文化財
谷崎 淳一	熊本商工会議所専務理事	経済界	天守復興
富田 紘一	熊本城顕彰会理事	考古学	天守復興
永田 求	熊本県文化協会常務理事	文化振興	天守復興
西形 達明	関西大学名誉教授	土木工学	文化財修復
西嶋 公一	熊本経済同友会常任幹事	経済界	計画策定／活用
西村 邦昭		公 募	天守復興
長谷川直司	国土交通省国土技術政策総合研究所住宅研究部長	建築学	文化財修復
◎平井 聖	東京工業大学名誉教授	建築学	文化財修復
宮武 正登	佐賀大学全学教育機構教授	歴史学	文化財修復
毛利 秀士	一新校区自治協議会会長	地元地域	計画／天守
○山尾 敏孝	熊本大学大学院先端科学研究部シニア教授	土木工学	文化財修復
吉田 純一	F U T 福井城郭研究所所長	建築学	計画／文化財
和田 章	東京工業大学名誉教授	建築学	文化財修復

※平成 29 年 4 月現在の役職等で記載

平成 31 年度から復旧事業での技術的な検討を行うための文化財修復検討部会を保存活用委員会から独立した「熊本城文化財修復検討委員会」とし、復旧に関することは委員会内で完結するようにしました。また、WGをできるだけ合同で開催し、審議の円滑化、迅速化を図りました。

＜特別史跡熊本城跡保存活用委員会・熊本城文化財修復検討委員会（令和元年度・令和２年度）組織図＞



・熊本城文化財修復検討委員会 令和元年度（2019年度）開催記録

第1回委員会	【開催日時】 令和元年5月27日（月曜日）10時00分から 【開催場所】 熊本市教育センター 3階第1研修室 【会議概要】 1 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第1回） 2 議事等 1) 本年度の委員会の日程・審議事項 2) 大天守附櫓階段手摺について（報告） 3) 飯田丸五階櫓石垣解体調査成果（報告） 4) その他
第2回委員会	【開催日時】 令和2年3月26日（木曜日）9時30分から 【開催場所】 熊本市役所 14階大ホール、城彩苑多目的交流施設ほか（リモート） 【会議概要】 1 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第2回） 2 議事等 1) 重要文化財建造物宇土櫓復旧について 2) 飯田丸五階櫓台石垣復旧について 3) 重要文化財建造物下石垣復旧について 4) 本丸御殿周辺石垣復旧について 5) その他

・専門ワーキング 令和元年度（2019年度）開催記録

石垣ワーキング	第1回	平成31年4月15日
合同（石垣・建築・構造）ワーキング	第1回	令和元年5月27日
建築ワーキング	第1回	令和元年5月27日
構造ワーキング	第1回	令和元年5月27日

合同（石垣・構造）ワーキング	第1回	令和元年7月12日
合同（石垣・構造）ワーキング	第2回	令和元年8月9日
合同（石垣・構造）ワーキング	第3回	令和元年9月13日
合同（石垣・構造）ワーキング	第4回	令和元年11月7日
建築ワーキング	第2回	令和元年11月7日
合同（石垣・建築・構造）ワーキング	第2回	令和元年12月25日
建築ワーキング	第3回	令和2年3月26日
合同（石垣・構造）ワーキング	第5回	令和2年3月26日

・熊本城文化財修復検討委員会 令和2年度（2020年度）開催記録

第1回委員会	【開催日時】 令和3年3月25日（木曜日）10時00分から 【開催場所】 城彩苑多目的交流施設ほか（リモート） 【会議概要】 1 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第1回） 2 議事等 1) ワーキンググループの開催状況 2) 建造物（源之進櫓～田子櫓、戌亥櫓・馬具櫓）について 3) 飯田丸五階櫓下石垣復旧について 4) 重要文化財建造物下石垣復旧について 5) 行幸坂法面安全対策工法について
--------	---

・専門ワーキング 令和2年度（2020年度）開催記録

合同（石垣・建築・構造）ワーキング	第1回	令和2年7月3日
合同（石垣・構造）ワーキング	第1回	令和2年7月3日
建築ワーキング	第1回	令和2年7月3日
合同（石垣・建築・構造）ワーキング	第2回	令和2年10月9日
合同（石垣・構造）ワーキング	第2回	令和2年10月9日
合同（石垣・構造）ワーキング	第3回	令和2年11月30日
合同（石垣・構造）ワーキング	第4回	令和2年12月15日
合同（建築・石垣・構造）ワーキング	第3回	令和3年2月22日
合同（石垣・構造）ワーキング	第5回	令和3年3月25日

・熊本城文化財修復検討委員会 委員名簿（令和元・2年度）

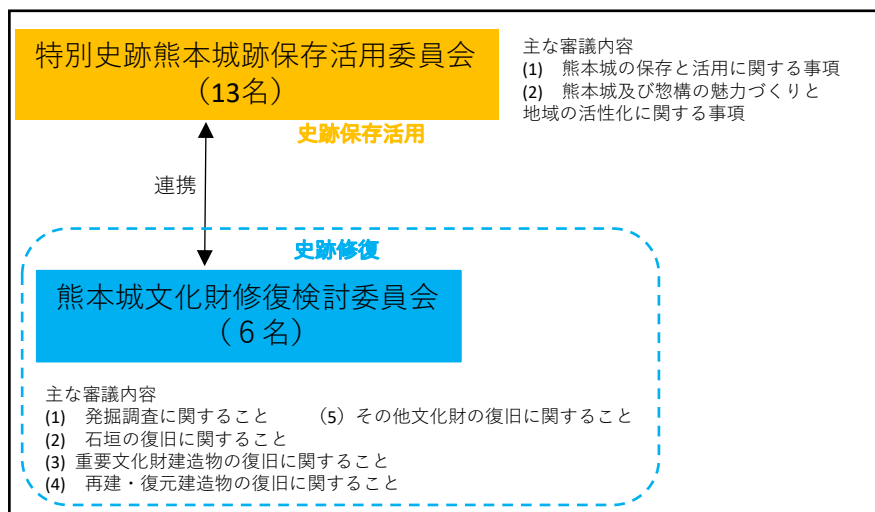
（任期：平成31年（2019年）4月1日～令和3年（2021年）3月31日）

氏名	分野	役職等
伊東 龍一	建築学 （日本建築史）	熊本大学大学院先端科学研究部教授 熊本市文化財保護委員会委員

北野 博司	考古学 (石垣)	東北芸術工科大学教授
北原 昭男	建築学 (木質構造)	熊本県立大学環境共生学部居住環境学専攻教授
千田 嘉博	考古学 (城郭)	奈良大学文学部教授
田中 哲雄	歴史学 (石垣)	(姫路市) 日本城郭研究センター名誉館長
西形 達明	土木工学 (石垣構造)	関西大学名誉教授 関西地盤環境研究センター顧問
長谷川 直司	建築学 (建築構工法)	国土交通省国土技術政策総合研究所シニアフェロー 文化庁文化審議会専門委員
平井 聖	建築学 (日本建築史)	東京工業大学名誉教授 昭和女子大学名誉学長
宮武 正登	歴史学 (城郭)	佐賀大学全学教育機構教授
山尾 敏孝	土木工学 (歴史遺産)	熊本大学名誉教授 熊本市文化財保護委員会委員
吉田 純一	建築学 (日本建築史)	FUT 福井城郭研究所顧問 福井工業大学客員教授
和田 章	建築学 (耐震工学)	東京工業大学名誉教授 防災学術連携運営幹事 日本免震構造協会会長

令和３年度からは、天守閣復旧も完了し、今後数年間のスケジュールや検討事項を踏まえて、文化財保護と防災対策に対する建設的な意見の集約ができる効率的で機動力のある組織改編が必要となったことから、地元の委員を中心に現地指導の機会を増やし、文化財保護と防災対策に対する建設的な意見を専門領域を超えて迅速に集約できる体制として、議論を行っています。

＜特別史跡熊本城跡保存活用委員会・熊本城文化財修復検討委員会（令和３年度・令和４年度）組織図＞



・熊本城文化財修復検討委員会 令和３年度（2021年度）開催記録

第１回委員会	【開催日時】 令和３年５月３１日（月曜日）１０時００分から 【開催場所】 熊本市教育センター ４階大研修室ほか 【会議概要】 １ 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第１回） ２ 議事等 １) 熊本城石垣耐震診断指針報告 ２) 重要文化財宇土櫓下石垣（続櫓）の復旧に関する報告・検討 ３) 飯田丸五階櫓台石垣の復旧に関する報告・検討 ４) 北十八間櫓ほか８棟の耐震診断結果報告・耐震補強案検討
第２回委員会	【開催日時】 令和３年８月６日（金曜日）１０時００分から 【開催場所】 城彩苑多目的交流施設 【会議概要】 １ 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第２回） ２ 議事等 １) 飯田丸五階櫓下 石垣復旧方針案 ２) 平櫓排水路検討の発掘調査案 ３) 本丸御殿下 石垣復旧方針案 ４) 東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓下石垣復旧方針案 ３ 現地 ・監物櫓下 石垣解体 完了視察 ・平左衛門丸 発掘 調査 視察
第３回委員会	【開催日時】 令和３年１０月１８日（月曜日）１０時００分から 【開催場所】 国際交流会館４階第３会議室 【会議概要】 １ 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第３回） ２ 議事等 １) 本丸御殿下石垣復旧措置案 ２) 東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓（北東櫓群）下石垣復旧措置案

	3) 平櫓周辺石垣危険部位の措置について 4) 宇土櫓続櫓の耐震補強案の検討について 5) 平左衛門丸発掘調査成果報告 3 現地 ・ 要人櫓下石垣復旧完了現場視察
第4回委員会	【開催日時】 令和4年2月2日（水曜日）10時00分から 【会議概要】 1 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第4回） 2 議事等 1) 数寄屋丸二階御広間及び南大手門の被害調査について 2) 東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓下石垣の基礎診断結果等について 3) 平櫓下石垣復旧措置案 4) 宇土櫓続櫓下石垣復旧措置案 3 現地 ・ 平櫓石垣解体現場視察

・ 熊本城文化財修復検討委員会 令和4年度（2022年度）開催記録

第1回委員会	【開催日時】 令和4年（2022年）6月3日（金曜日）10時00分から 【開催場所】 城彩苑多目的交流施設 【会議概要】 1 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第1回） 2 議事等 1) 熊本城石垣耐震診断検証 2) 東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓下石垣の復旧措置（案） 3) 宇土櫓続櫓下石垣の復旧措置（案） 3 現地 ・ 宇土櫓下空堀発掘調査現場視察
第2回委員会	【開催日時】 令和4年（2022年）9月22日（木曜日）10時00分から 【開催場所】 城彩苑多目的交流施設 【会議概要】 1 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第2回） 2 議事等 1) 宇土櫓続櫓下石垣の復旧措置（案）について 2) 東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓下石垣の復旧措置（案） 3) 平櫓下石垣の復旧措置（案）について 3 現地 ・ 飯田丸五階櫓丁張現地視察
第3回委員会	【開催日時】 令和5年（2023年）2月1日（水曜日）10時30分から 【開催場所】 城彩苑多目的交流施設 【会議概要】 1 名称 熊本城文化財修復検討委員会（第3回） 2 議事等 1) 第2回熊本城復旧基本計画検証委員会（報告） 2) 平櫓下石垣の復旧措置（案）（報告） 3) 宇土櫓続櫓下石垣の復旧措置（案） 4) 本丸御殿下石垣復旧措置（案） 5) 東十八間櫓・北十八間櫓・五間櫓下石垣の復旧措置（案）

・熊本城文化財修復検討委員会 委員名簿（令和３・４年度）

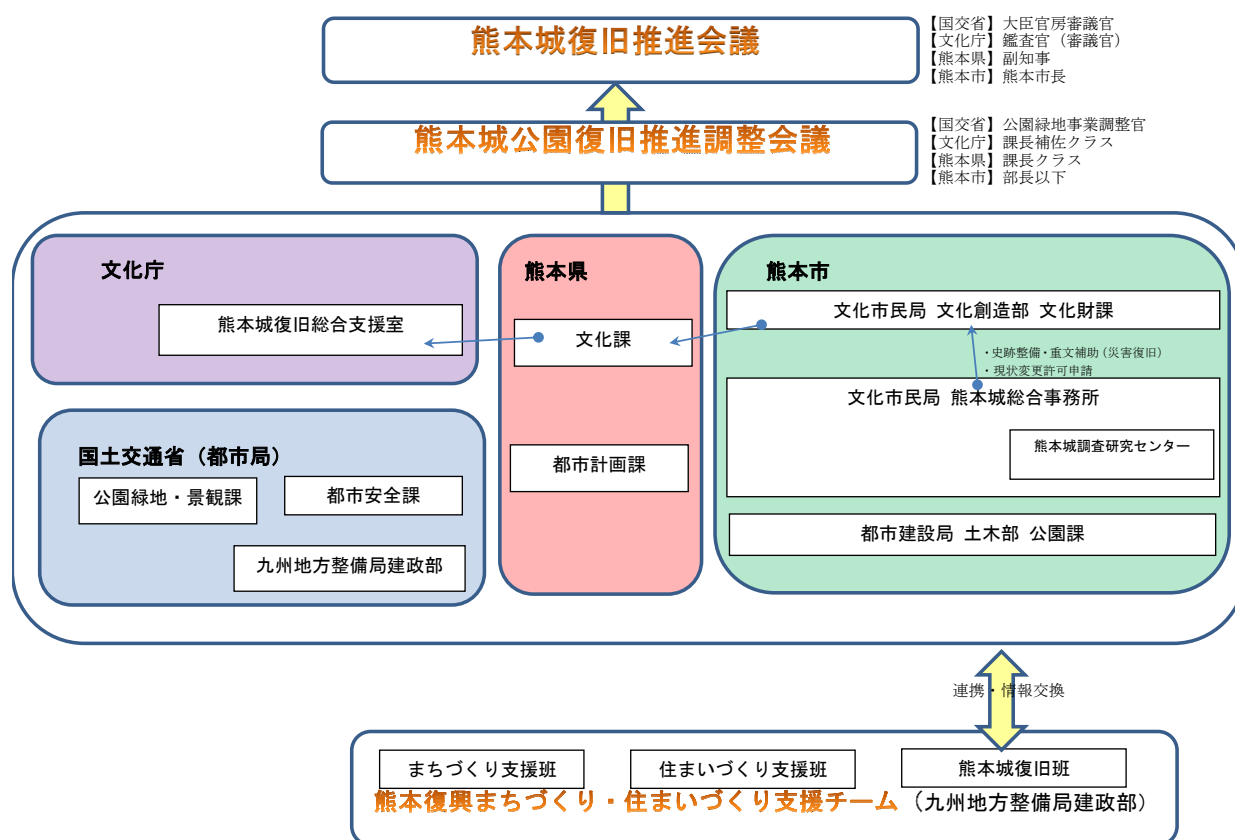
（委嘱期間：令和３年（2021 年）４月１日～令和５年（2023 年）３月 31 日）

氏名	分野	役職等（令和３年４月１日現在）
伊東 龍一	建築学 （日本建築史）	熊本大学大学院先端科学研究部教授 熊本市文化財保護委員会委員
北野 博司	考古学 （石垣）	東北芸術工科大学教授
北原 昭男	建築学 （木質構造）	熊本県立大学環境共生学部居住環境学専攻教授
千田 嘉博	考古学 （城郭）	奈良大学文学部教授
西形 達明	土木工学 （石垣構造）	関西大学名誉教授 関西地盤環境研究センター顧問
山尾 敏孝	土木工学 （歴史遺産）	熊本大学名誉教授 熊本市文化財保護委員会委員

③ 熊本城復旧推進会議

熊本市、国（文化庁、国土交通省）及び熊本県の関係者一体となった熊本城の復旧推進を図るため、熊本城復旧に係る基本方針及び復旧基本計画策定（改定）にあたり、「熊本城復旧推進会議」を開催し、関係者間で復旧方針等の共有と一体となった復旧推進を確認しました。また、熊本城公園の早期復旧に向けて、国・県・市の関係機関による連絡調整の場として、「熊本城公園復旧推進調整会議」を定期的に開催し、今後の復旧に係る連絡調整の円滑化を図っています。

i) 構成団体



ii) 熊本城復旧推進会議の開催状況

平成 28 年度	【開催日時】 平成 28 年 12 月 26 日（月曜日）16 時 00 分から 【開催場所】 熊本市役所本庁舎 5 階 庁議室 【会議概要】 1 名称 熊本城復旧推進会議 2 内容 1) 熊本城復旧基本方針報告 2) 意見交換
平成 29 年度	【開催日時】 平成 30 年 3 月 28 日（水曜日）13 時 45 分から 【開催場所】 熊本市役所本庁舎 5 階 庁議室

	【会議概要】 1 名称 熊本城復旧推進会議 2 内容 1) 熊本城復旧基本方針報告 2) 意見交換
令和3年度	【開催日時】 令和4年3月28日（月曜日）9時30分から 【開催場所】 熊本市役所本庁舎5階 災害対策指揮室 （国・県関係者はリモート形式により参加） 【会議概要】 1 名称 国・県・市による熊本城復旧に関するリモート会談 2 内容 1) 市長挨拶 2) 意見交換
令和4年度	【開催日時】 令和5年3月28日（火曜日）14時30分から 【開催場所】 熊本市役所本庁舎5階 庁議室 【会議概要】 1 名称 熊本城復旧推進会議 2 内容 1) 熊本城復旧基本計画改定報告 2) 意見交換

iii) 熊本城公園復旧推進調整会議の開催状況

第1回	【開催日時】 平成28年5月12日（木曜日）14時00分から 【開催場所】 熊本市民会館2階 会議室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第1回） 2 内容 1) 熊本城公園復旧推進調整会議（仮称）について 2) 熊本城の被災状況及び復旧について
第2回	【開催日時】 平成28年6月6日（月曜日）14時00分から 【開催場所】 熊本市民会館2階 会議室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第2回） 2 内容 1) 熊本市熊本城復旧復元プロジェクト担当者紹介 2) 熊本城公園の復旧に係る検討状況について
第3回	【開催日時】 平成28年7月11日（月曜日）14時00分から 【開催場所】 熊本市教育センター3階 第1研修室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第3回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第4回	【開催日時】 平成28年9月5日（月曜日）14時00分から 【開催場所】 熊本市教育センター3階 第1研修室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第4回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第5回	【開催日時】 平成28年10月11日（火曜日）14時00分から

	【開催場所】 熊本市民会館 2 階 会議室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第5回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 6 回	【開催日時】 平成 28 年 11 月 9 日（水曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 熊本市教育センター3 階 第 2 研修室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第6回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 7 回	【開催日時】 平成 28 年 11 月 28 日（月曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 桜の馬場城彩苑 多目的交流室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第7回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 8 回	【開催日時】 平成 29 年 2 月 6 日（月曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 熊本市教育センター2 階 中研修室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第8回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 9 回	【開催日時】 平成 29 年 3 月 27 日（月曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 桜の馬場城彩苑 多目的交流室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第9回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 10 回	【開催日時】 平成 29 年 4 月 28 日（金曜日）14 時 30 分から 【開催場所】 熊本市教育センター3 階 第 1 研修室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第10回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 11 回	【開催日時】 平成 29 年 7 月 28 日（金曜日）13 時 30 分から 【開催場所】 熊本市現代美術館 3 階 研修室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第11回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について

第 12 回	【開催日時】 平成 29 年 8 月 24 日（木曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 熊本県伝統工芸館 2 階 会議室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第12回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 13 回	【開催日時】 平成 29 年 10 月 16 日（月曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 熊本市教育センター3 階 第 1 研修室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第13回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 14 回	【開催日時】 平成 30 年 1 月 16 日（火曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 桜の馬場城彩苑 多目的交流室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第14回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 15 回	【開催日時】 平成 30 年 7 月 31 日（火曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 熊本市役所議会棟 2 階 議運・理事会室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第15回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 16 回	【開催日時】 平成 31 年 1 月 22 日（火曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 熊本市役所議会棟 2 階 予算決算委員会室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第16回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 17 回	【開催日時】 令和元年 7 月 23 日（火曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 熊本市役所議会棟 2 階 議運・理事会室 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第17回） 2 内容 1) 熊本城公園の災害復旧の取組状況について 2) 今後の災害復旧の進め方について
第 18 回	※当初は令和 2 年 3 月 2 日（月曜日）に開催予定していたものの新型コロナウイルス感染拡大により中止し、下記日程により開催。 【開催日時】 令和 3 年 2 月 25 日（火曜日）10 時 00 分から 【開催場所】 各庁内会議室若しくは執務室（リモート形式） 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第18回） 2 内容 熊本城公園の災害復旧取組状況及び今後の進め方について

第 19 回	【開催日時】 令和 4 年 2 月 15 日（火曜日）14 時 00 分から 【開催場所】 各庁内会議室若しくは執務室（リモート形式） 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第19回） 2 内容 熊本城公園の災害復旧取組状況及び今後の進め方について
第 20 回	【開催日時】 令和 5 年 2 月 27 日（月曜日）13 時 30 分から 【開催場所】 各庁内会議室若しくは執務室（リモート形式） 【会議概要】 1 名称 熊本城公園復旧推進調整会議（第20回） 2 内容 熊本城公園の災害復旧取組状況及び今後の進め方について

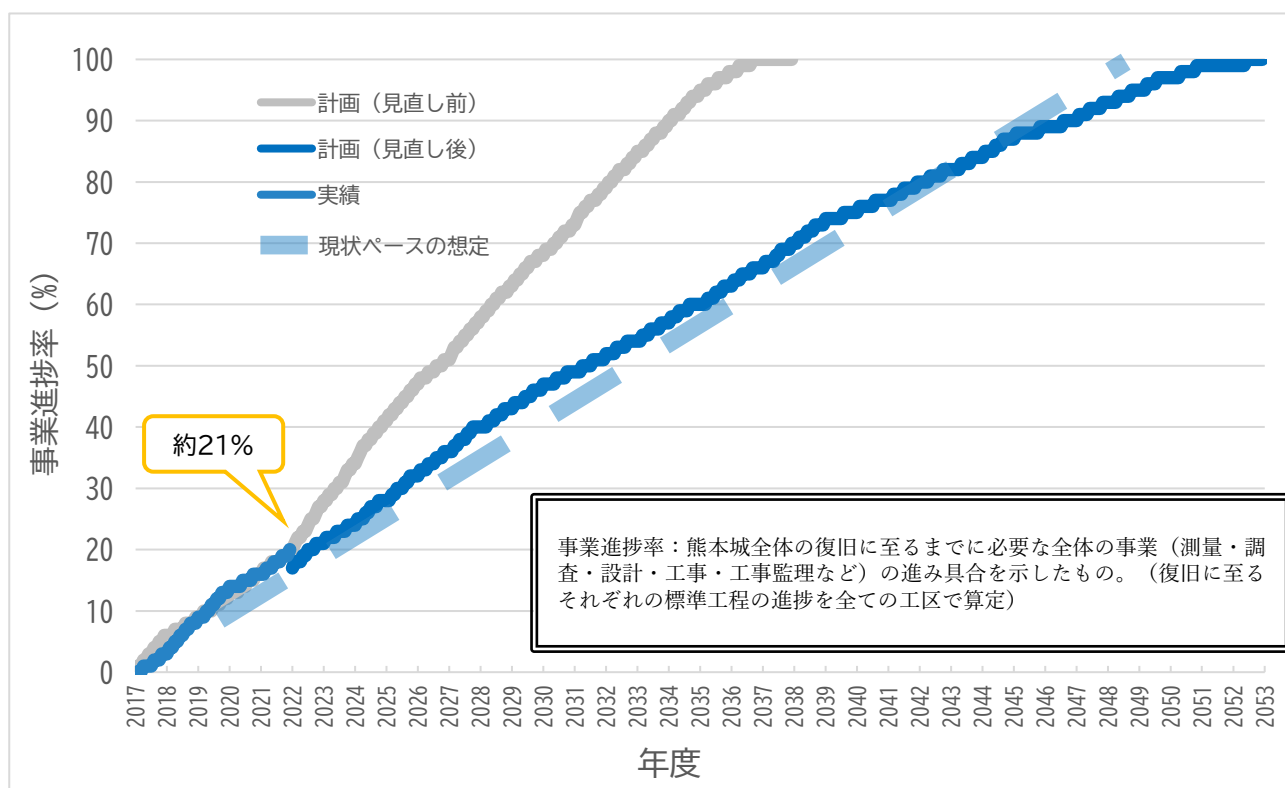
(3) 計画推進のあゆみ

① 短期施策期間における建造物・石垣の事業進捗率

令和3年度（2021年度）末までに、石垣に関しては被害面積約23,600㎡のうち、約4%となる約1,030㎡、建造物に関しては被害棟数33棟のうち、天守閣と長塀の2棟が復旧完了しました。

またその他の石垣や建造物について復旧に向け設計や工事などを進めているところで、熊本城全体の復旧に至るまでに必要な全体の事業（測量・調査・設計・工事・工事監理など）の進捗具合を示した事業進捗率は約21%となっており、短期施策においては概ね当初計画どおり進んでいるといえます。

計画見直し前は、2023年度以降、事業進捗のペースを上げていくこととしていましたが、様々な課題が明らかとなり、短期施策期間における実績を基にした標準工期の再設定、これまでの社会・経済情勢や建設環境等を踏まえた適正な事業量の再設定を行いました。見直しを行った令和5年度（2023年度）以降の事業進捗率は下図のとおりで、現在までの事業進捗のペースを維持していく工程となっています。



② 主な出来事

平成 28 年(2016 年)	
4 月 14 日	21 時 26 分、 前震
4 月 16 日	1 時 25 分、 本震
4 月 17 日	熊本市役所で熊本市が熊本城の被害について会見
4 月 21 日	熊本城災害復旧支援金口座開設
5 月 10 日	馬具櫓石垣が余震で崩落
5 月 12 日	城彩苑～二の丸広場の歩行ルート開通。 無料シャトルバス運行再開
5 月 25 日	百間石垣の応急工事 発掘調査着手
6 月 1 日	ライトアップ再開
6 月 7 日	東十八間櫓下石垣（民間駐車場）の崩落石回収着手
6 月 8 日	加藤神社北側道路開通
6 月 10 日	飯田丸五階櫓倒壊防止工事着手
6 月 13 日	百間石垣の崩落石材の回収着手
6 月 19 日	シンポジウム 「熊本城は今」 開催
6 月 24 日	宮内橋横の崩落石材の回収着手
7 月 21～25 日	飯田丸五階櫓倒壊防止仮受構台の移動作業実施
7 月 22 日	湧々座で石垣崩落石材の展示開始
7 月 26 日	市長が「熊本城復旧の基本的な考え方」を発表
8 月 1 日	百間石垣北側の市道開通
9 月 8 日	頬当御門周辺の崩落石材の回収着手
11 月 1 日	「復興城主」制度開始
12 月 1 日	加藤神社の崩落石材の回収着手
12 月 23 日	県立美術館～護国神社間の通行止め解除
12 月 26 日	熊本城復旧基本方針策定
平成 29 年(2017 年)	
1 月 5 日	北十八間櫓部材回収工事着手
2 月 10 日	熊本城天守閣復旧整備工事着手
3 月 17 日	頬当御門から天守閣前広場までの仮設スロープ設置完了
4 月 7 日	二の丸駐車場に「お休み処」 オープン
7 月 27 日	飯田丸五階櫓倒壊防止受構台の移動作業実施
8 月 17～18 日	「よみがえる熊本城復興見学ルート」 案内板設置
8 月 30 日	湧々座で大小天守の鯨のお披露目。 展示始まる
10 月 1 日	城内の見学エリアを一部拡大

11月2日	大天守最上階に仮屋根設置
11月6日	長堀復旧に伴う確認調査着手
11月22日	平御櫓続堀の解体工事着手
12月20日	飯田丸五階櫓の解体保存工事着手
平成30年(2018年)	
2月1日	特別見学通路設置に伴う確認調査着手
3月25日	桜の開花にあわせて週末のみ行幸坂限定公開
3月	「特別史跡熊本城跡保存活用計画」を改訂
3月28日	「熊本城復旧基本計画」を策定
4月3日	大天守最上階の仮屋根解体
4月28日	鯨瓦設置イベント「復活しゃちほこまつり」開催
6月15日	桜馬場・高麗門地区、特別史跡追加指定答申
6月20日	大雨により元太鼓櫓倒壊
7月2日	飯田丸五階櫓「一本石垣」解体開始
7月23日	大天守石垣積み直し開始
8月8日	西大手門・元太鼓櫓・監物櫓の解体保存工事着手
9月14～16日	文化財石垣保存技術協議会熊本研修会
9月14日	長堀復旧に伴う掘削作業開始
10月10日	長堀発掘調査着手
10月10日	西大手門建物解体工事着手
11月23日	二の丸御門跡開放(通行規制解除)
11月30日	大天守石垣の積み直しが終了
平成31年(2019年)	
2月1日	長堀の復旧工事始まる
3月8日	特別見学通路工事着手
3月23・24・30・31日	桜開花にあわせた週末のみの行幸坂限定公開
4月26日	長堀ライティング開始
令和元年(2019年)	
5月24日	飯田丸五階櫓石垣解体終了
6月28日	小天守石垣積み直し終了
7月3日	奉行丸堀解体工事着手
8月21日	平櫓解体工事足場設置
10月5日	熊本城特別公開第1弾始まる
10月16日	JT跡地・NHK跡地 特別史跡追加指定

10 月 20 日～22 日	文化財石垣保存技術協議会 令和元年度技能者養成研修（熊本研修）の開催
11 月 23 日	小天守しゃちほこ設置セレモニー
12 月 14 日	熊本城特別公開 10 万人突破
令和 2 年(2020 年)	
3 月 1 日～5 月 31 日	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、特別公開中止
4 月 25 日～5 月 6 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため熊本城復旧工事の中断
4 月 29 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため特別公開第 2 弾公開延期
5 月 12 日	要人櫓台解体工事開始
6 月 1 日	特別公開第 2 弾開始 特別見学通路開通
令和 3 年(2021 年)	
1 月 29 日	長塀復旧完了
3 月 20 日～28 日	行幸坂一般開放
3 月 24 日	天守閣復旧完了
4 月 26 日～6 月 27 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 特別公開第 3 弾延期
5 月 14 日	飯田丸五階櫓台下段(要人櫓台)の 石垣積み直し開始
6 月 28 日	熊本城特別公開第 3 弾(天守閣内部公開) 開始
8 月 1 日	天守閣ライトアップリニューアル
8 月 2 日～ 9 月 30 日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉園
9 月 20 日	平櫓石垣解体工事開始
10 月 1 日	監物櫓復旧工事開始
令和 4 年(2022 年)	
2 月 3 日	平櫓石垣解体工事終了
3 月 10 日	NHK 跡地発掘調査開始
9 月 17 日	NHK 跡地発掘調査現地説明会開催
9 月～	飯田丸五階櫓石垣復旧工事開始
10 月 3 日	宇土櫓（五階櫓）解体保存工事開始
10 月 11 日	馬具櫓ほか解体保存工事終了
令和 5 年(2023 年)	
2 月	熊本城みどり保存管理計画策定
2 月 15 日	戌亥櫓ほか解体保存工事終了

③ 熊本城復元整備基金の活用実績

「復興城主」制度や「熊本城災害復旧支援金」により、多くの皆様から寄せられた浄財を熊本城の復旧・復元に活用しています。また、日本財団からも熊本城再建のために支援をいただき、天守閣展示施設整備や特別見学通路設置などに活用しています。

＜復興城主及び災害復旧支援金の件数及び寄付金額＞

年度	寄附件数	寄付金額
平成 28 年度(2016 年度)	73,246 件	2,475,893,007 円
平成 29 年度(2017 年度)	36,097 件	1,001,392,775 円
平成 30 年度(2018 年度)	13,578 件	558,889,705 円
令和元年度 (2019 年度)	8,180 件	342,942,766 円
令和 2 年度 (2020 年度)	5,986 件	469,821,867 円
令和 3 年度 (2021 年度)	9,525 件	333,859,721 円
合計	146,612 件	5,182,799,841 円

※日本財団からは、平成 29 年度（2017 年度）から令和 4 年度（2022 年度）までの 6 年間で 30 億円のご支援をいただいています。

＜熊本城復元整備基金の支出内訳＞ （単位：円）

年度	熊本城復元整備基金	
	日本財団からの寄附金	復興城主及び 熊本城災害復旧支援金
平成 28 年度(2016 年度)	0	108,375,075
平成 29 年度(2017 年度)	70,086,000	382,035,579
平成 30 年度(2018 年度)	487,987,222	148,199,640
令和元年度 (2019 年度)	1,376,007,038	1,209,300,367
令和 2 年度 (2020 年度)	655,766,630	707,460,863
令和 3 年度 (2021 年度)	41,512,000	157,484,635
計	2,631,358,890	2,712,856,159
合計	5,344,215,049	

④ 復旧状況における報道実績

復旧の進捗にあわせて報道公開を実施するなど、マスコミを通して多くの方に熊本城の被災状況や復旧過程を知っていただく取り組みを実施しました。

<平成 28 年度（2016 年度）の主な報道公開>

- 4 月 17 日 熊本城の被害報告（市役所にて会見）
- 5 月 11 日 危険区域内を初公開
- 5 月 25 日 百間石垣の応急工事・発掘調査着手
- 6 月 7 日 東十八間櫓下石垣（民間駐車場）の崩落石撤去
- 6 月 16 日 飯田丸五階櫓崩落防止工事着手
- 7 月 21 日 飯田丸五階櫓崩落防止工事進捗状況
- 7 月 26 日 市長会見「熊本城復旧の基本的な考え方」を発表
- 7 月 28 日 定期公開（危険区域内を再公開）
- 8 月 1 日 市道開通（百間石垣応急工事の終了）
- 9 月 21 日 頬当御門周辺の石垣・建築部材撤去工事、建築部材の保管庫を公開
- 10 月 12 日 定期公開（本丸御殿・大天守入口内部の公開）
- 11 月 4 日 天守内部映像を公開
- 11 月 18 日 宇土櫓内部映像を公開
- 12 月 2 日 定期公開（加藤神社・頬当門・大イチョウ）
- 1 月 24 日 定期公開（櫓方門・長堀・頬当門・スロープ・七間櫓・天守前広場）
- 3 月 24 日 定期公開（東竹の丸・天守前広場・スロープ・奉行丸・桜公開）

<平成 29 年度（2017 年度）の主な報道公開>

- 4 月 5 日 加藤神社で行われた安全祈願祭
- 5 月 19 日 定期公開（天守閣復旧工事・飯田丸五階櫓石垣回収）
- 5 月 29 日 飯田丸下の無人重機・無人施工公開
- 7 月 13 日 二の丸広場の見学路設置
- 7 月 27 日 定期公開（天守閣復旧工事・飯田丸五階櫓受構台工事）
- 8 月 1 日 熊本城観覧区域を一部拡大
- 8 月 30 日 大小天守の鯨をお披露目
- 10 月 1 日 規制区域変更
- 11 月 2 日 定期公開（天守閣復旧工事・宇土櫓工事・不開門部材回収・飯田丸五階櫓）
- 11 月 24 日 旧細川刑部邸紅葉限定公開
- 12 月 5 日 定期公開（天守閣復旧工事・飯田丸五階櫓）
- 1 月 26 日 定期公開（天守閣復旧工事・長堀発掘調査・飯田丸五階櫓工事）
- 3 月 25 日 子ども石垣調査隊
- 3 月 25 日 定期公開（行幸坂桜・大天守仮屋根・仮設見学通路確認調査）

＜平成 30 年度（2018 年度）の主な報道公開＞

- 4 月 3 日 天守閣復旧整備工事・大天守仮設屋根の解体
- 4 月 6 日 天守閣復旧整備工事・しゃちほこ設置作業開始・仮設見学通路計画に伴う発掘
- 4 月 28 日 しゃちほこ設置セレモニー
- 5 月 10 日 市政記者クラブに天守・飯田丸五階櫓公開
- 5 月 15 日 小天守石垣回収・解体工事
- 6 月 26 日 大天守復旧工事
- 7 月 2 日 飯田丸五階櫓「一本石垣」の解体作業・大天守穴蔵石垣
- 7 月 23 日 熊本城大天守石垣の積み直し開始
- 8 月 29 日 大天守復旧工事・小天守 4 階跳ね出し鉄骨の差込作業など
- 8 月 31 日 石材加工作業など
- 9 月 14 日～16 日 文化財石垣保存技術協議会研修について
- 10 月 16 日 天守閣復旧整備工事・外装復旧、制振・耐震補強、石垣復旧工事状況等
- 11 月 22 日 熊本城内における紅葉状況について
- 11 月 23 日 二の丸御門跡の崩落石材回収完了に伴う立入制限の解除
- 2 月 12 日 旧細川刑部邸の梅園の期間限定開放について
- 2 月 19 日 小天守石垣積み直し状況・工事の進捗状況・飯田丸五階櫓の進捗状況
- 3 月 6 日 長堀組立工事

＜令和元年度（2019 年度）の主な報道公開＞

- 4 月 15 日 天守閣復旧整備工事・小天守 4 階復旧工事
- 4 月 17 日 天守閣復旧整備工事・小天守入口石垣の構造補強
- 4 月 18 日 小天守出土「慶應(応)」銘瓦
- 4 月 26 日 熊本城復旧工事(定期公開)小天守 4 階復旧工事・石垣補強、長堀破損材の繕い補修作業
- 6 月 27 日 熊本城復旧工事(定期公開)特別公開に伴う石垣安全対策、小天守 4 階仮屋根設置・石垣工事状況、特別見学通路工事状況説明、長堀控柱修復作業
- 10 月 5 日 熊本城特別公開第 1 弾 セレモニー
- 10 月 20～22 日 文化財石垣保存技術協議会 令和元年度技能者養成研修(熊本研修)
- 11 月 9 日 小天守東側鯨設置
- 11 月 17・23 日 小天守しゃちほこの展示及び設置
- 12 月 20 日 熊本城復旧工事(定期公開)長堀の復旧状況、奉行丸南側石垣安全対策、特別見学通路の工事状況、天守閣復旧整備状況
- 1 月 25 日 熊本城防災訓練
- 2 月 18 日 熊本城復旧工事(定期公開)特別公開第 2 弾、特別見学通路工事状況

＜令和 2 年度（2020 年度）の主な報道公開＞

- 4 月 29 日 特別見学通路完成

8月7日・8日 小天守4階足場解体
 9月14日 大天守内部の公開
 9月30日 飯田丸五階櫓石垣復旧工事
 11月2日 長堀組立工事の足場の解体
 1月29日 長堀の公開

<令和3年度（2021年度）の主な報道公開>

4月6日 天守閣内部報道公開
 5月18日 飯田丸五階櫓台下段（要人櫓台）の石垣積み直し
 6月28日 熊本城特別公開第3弾（天守閣内部公開）開始
 7月16日 行幸坂安全対策工事
 8月1日 天守閣ライトアップリニューアル
 8月30日 行幸坂サクラ（危険木）への対応
 9月10日 監物櫓・平櫓台石垣復旧状況
 11月17日 備前堀の水抜き作業
 2月18日 監物櫓の部材繕い・戌亥櫓の修復状況

<令和4年度（2022年度）の主な報道公開>※令和4年12月末までに限る。

5月10日 監物櫓の建て方作業開始
 5月23日 長堀ライトアップリニューアル
 6月3日 宇土櫓・続櫓下空堀発掘調査
 7月4日 石門周辺崩落石材改修工事
 10月3日 飯田丸五階櫓台石垣・馬具櫓台石垣の復旧工事
 12月19日 飯田丸五階櫓台石垣復旧工事



飯田丸五階櫓台石垣復旧工事（2022）



監物櫓での部材の繕い（2021）

<熊本城に関する新聞記事掲載件数>

	平成28年度 2016年度	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	令和元年度 2019年度	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度
件数	410	515	280	313	273	243

※熊本城総合事務所で把握しているものに限る

⑤ 視察対応・講演等の実績

市民等に対し熊本城の復旧や文化財的価値について広く理解を深めていただくため、視察対応や講演・講座等の活動を行いました。

<視察対応実績>

(単位：件)

年度	視察対応	講演・講座	その他（展示・見学会等）
平成 28 年度 (2016 年度)	239	86	29
平成 29 年度 (2017 年度)	227	118	15
平成 30 年度 (2018 年度)	225	59	26
令和元年度 (2019 年度)	188	63	27
令和 2 年度 (2020 年度)	73	12	7
令和 3 年度 (2021 年度)	83	13	7

(2) 市民参画

熊本のシンボルであり、市民・県民の誇りである「熊本城」の復旧に向けて、市民の皆様からの幅広い意見を聴取するため、復旧の状況や方針等の共有を図るためのオープンハウス・ワークショップ・シンポジウムを開催しました。

① オープンハウス

日 時：平成 29 年 8 月 4 日（金曜日）、5 日（土曜日）、6 日（日曜日）

10：00～17：00 ※6日は台風5号の影響により12時まで

場 所：下通りファインビル前（4日）、下通4番街（5日）、びぷれす広場（6日）

内 容：パネル・模型展示、天守閣復旧イメージ映像上映、メッセージボード作成、アンケート聴取

◆パネル・模型展示



◆天守閣復旧イメージ映像上映



◆メッセージボード作成



◆アンケート聴取

- ・アンケート回収数 328 件
- ・主な意見

(ア) 天守閣にどんな展示があったらいいと思いますか。

- ・映像を使って当時にタイムスリップ出来るような展示
- ・五感を用いて楽しめる展示品があると誰でも楽しめるのかと思います
- ・復旧の過程をパネルなどで展示
- ・外国人にもわかりやすいものにする

(イ) 熊本城がこれから段階的に復旧していく姿をどのように活用したいですか。

- ・工事現場の見学
- ・長い期間復旧している姿を近くで見られるツアー
- ・防災教育の教材として「なおし続ける熊本城」の姿を提示する
- ・壊れた廃棄物の活用

(ウ) 熊本城の復旧にどんなかたちで関わりたいですか。

- ・瓦や栗石等に名前等を書く
- ・復旧工事への体験参加
- ・寄附金
- ・復旧過程の記録と発信
- ・清掃活動などのボランティア
- ・ラインスタンプを作る
- ・出来るだけお城に足を運ぶ

② ワークショップ

日 時：平成 29 年 8 月 27 日（日曜日）13：30～16：00

場 所：熊本市役所 1 4 階大ホール

内 容：大西市長も参加し、グループごとに熊本城復旧に対する想い・課題・提案を
発表

参加者：78 名



＜ワークショップ風景＞

◆熊本城の復旧に関する、わたしたちの提案

テーマ A：展示内容の提案、B：復旧過程の活用、C：熊本城復旧への参画手法

グループ	テーマ	課題	提案
1	A	- 人々（特に若者）の熊本城に対する関心の低さ - 城の建物が点在していて見にくい - 限られた部分しか利用されていない等	- 熊本城をもっとアピールする（SNS、HP、CM） - 若者の関わりやすいイベント（下通りなどで） - IT活用、VR活用（目で見て体験する）等
2	A	- 展示できるものを増やす。 - 目玉のものをつくる。 - 海外への発信（英語表記の充実）	- 昔の遊びを体験できるコーナーをつくる - 熊本城の今昔を照らし合わせ、VRで観光する等
3	A	- 展示テーマがはっきりしない - 内容が十分ではない	- 城域全体で展示を考える - 石垣・建物そのものを見せる - 博物館や美術館に展示
4	A	昔の姿を残す部分と新しく変える部分との区別（威厳を保つ）	VR、コスプレなど施設に頼らないソフト事業（脱箱モノ）
5	B	市民参画の「復興再現劇」上演（演出家・役者）	昔の城造りを再現。
6	B	- 財源の不足 - 交通アクセス	- 寄附金制度の充実 - 空港から熊本城をモノレールでつなぐ（MICE対策）
7	B	財源確保	- マラソン等、体験と引きかえに - ゲームとのコラボ - 作業を体験、一緒に経験 - 石垣基金（VRで）
8	C	- 文化財に手が出せない - 危険箇所には入れない	- 市役所に専門部署をつくる 「登城願」を送って復興城主を更新制にする
9	C	観光地化しており、市民向けではない	—

10	C	・工事過程を見学できない ・小学生が熊本城の現状を分かっていない	・見学通路をもうける ・復旧の見学バスツアー ・LIVEのドローン映像 ・小学生が関わるプロジェクト ・石や瓦に名前を書かせる ・ボランティアガイドをしてもらう
----	---	---	---

③ 市民シンポジウム～100 年先を見据えた復元への礎づくり～

日 時：平成 30 年 1 月 28 日（日曜日）14：00～16：00

場 所：くまもと県民交流館パレア ホール

内 容：基調講演、熊本城復旧基本計画（素案）の説明、パネルディスカッション

参加者：191 名

◆基調講演「熊本城の歴史と魅力、そして今」

講演者：富田紘一（熊本城顕彰会 理事）

◆パネルディスカッション「100 年先を見据えた復元へ」

司 会：田中尚人（熊本大学政策創造研究教育センター 准教授）

パネリスト：矢野和之（（株）文化財保存計画協会 代表取締役）

毛利秀士（一新校区自治協議会 会長）

野口真未（熊本大学生、2017 ミス・ユニバース・クマモト）

津曲俊博（熊本城総合事務所 所長）



シンポジウム風景

④ 熊本城復旧基本計画啓発イベント

熊本地震からの復旧に関するこれまでの取り組みや今後の計画などを広く発信し、熊本城への関心や理解をさらに深めることを目的に開催しました。開催内容の対象は全年齢層向けとし、特に市内在住で小中学生などの、これからの熊本を担う若い世代をメインの対象としました。

日 時：令和5年3月25日（土曜日）13：30～15：15

場 所：熊本城ホール シビックホール

内 容：基調講演、熊本城復旧基本計画改定案の説明、パネルディスカッション

参加者：600名

◆基調講演

講演者：小和田 泰経

（歴史学者、静岡英和学院大学講師、早稲田大学エクステンションセンター講師）

◆パネルディスカッション

「熊本城の復旧基本計画を学ぼう！石原良純とすごいぜ！熊本城」

進 行：中上 真亜子（タレント）

パネリスト：小和田 泰経

石原 良純（タレント）

栗原 響大（“お城博士ちゃん”）



イベント風景

2. 用語集

第1章 はじめに

特別史跡・・・P.3

(とくべつしせき)

- ・文化財保護法における遺跡の中で、国が定めた「史跡」のうち、学術上の価値が特に高く日本の文化を象徴するもの。文化財保護法に基づき文部科学大臣が指定。

都市公園・・・P.3

(としこうえん)

- ・都市公園法第2条及び都市計画法第11条第1項、第2項に基づき、公共の福祉の増進に寄与するため国や自治体が設置した公園または緑地。

便益施設・・・P.3

(べんえきしせつ)

- ・都市公園法第2条第2項第7項で定める、売店やトイレなどの公園施設のこと。熊本城公園では、料金所や売店、トイレ、休憩所、四阿（あずまや）などのことを指す。

管理施設・・・P.3

(かんりしせつ)

- ・都市公園法第2条第2項第8項で定める、門、さく、管理事務所などの公園施設のこと。熊本城公園では、詰所や倉庫、電気室、ポンプ室などのことを指す。

必須工程・・・P.5

(ひつすこうてい)

- ・熊本城の復旧手順のうち、期間が最長となる一連の工程。熊本城全体の復旧期間を決定づけるため、全体の復旧を進めていくうえで必須の工程となる。クリティカルパス。

熊本市第7次総合計画・・・P.6

(くまもとしだい7じそうごうけいかく)

- ・市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽しむことができる「上質な生活都市」の実現のための基本指針として、平成28年3月に策定。令和元年度に中間見直しを行い、市民と行政がそれぞれの役割と責任

を担い、地域課題を解決しながら、安全・安心で新しい魅力と活力に満ちた熊本づくりに取り組むための基本指針として改訂。

熊本市中心市街地活性化基本計画・・・P.6

(くまもとしちゅうしんしがいちかっせいかけきほんけいかく)

- ・熊本地震からの復興とともに、これまでの熊本市中心市街地の課題を克服し、将来にわたる活力の維持、中心市街地のさらなるにぎわいを創出するための基本的な方針、取り組みをとりまとめた計画。平成29年(2017)11月熊本市策定。

平成28年熊本地震からの復旧・復興プラン

・・・P.6

(へいせい28ねんくまもとじしんからのふっきゅう・ふっこうぶらん)

- ・熊本地震により被害をうけた熊本の復興後の将来像、中期的に達成すべき目標や具体的な取組み等をとりまとめた計画。平成28年(2016)8月熊本県策定。

第2章 熊本城の被害状況と復旧状況

熊本平野・・・P.9

(くまもとへいや)

- ・九州の中央、阿蘇外輪山西麓から有明海に広がる平野。西は有明海島原湾に面し、南は宇土半島・益城山地を境としている。面積は約775平方km。

茶臼山・・・P.9

(ちやうすやま)

- ・熊本城が築城された丘陵。阿蘇火山の火砕流起源の地質からなり、掘削が容易であった。

板碑・・・P.9

(いたび)

- ・板状に整形した塔身の一部に仏像や梵字を配置した、主に供養塔として使われる石碑の一種。

五輪塔・・・P.9

(ごりんとう)

- ・仏教で万物を構成する五つの要素を五大(空・風・火・水・地)といい、これをかたどった五つの部分から成る塔。主に石で造られている。

出田氏・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(いでたし)

- ・ 菊池氏第3代経頼の孫経信が出田村を所領して出田姓を名乗る。経信より14代目の秀信は、熊本に進出し「千葉城」に在城した。

鹿子木氏・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(かのこぎし)

- ・ 戦国時代に現在の熊本市北区一帯を地盤とした武家。大友氏の重臣として「隈本城」に在城した。

城氏・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(じょうし)

- ・ 戦国時代末の肥後の武家領主。守護大名菊池氏の一族で、三家老臣家の一つ。

城久基・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(じょうひさもと)

- ・ 城親賢の子。幼少のため叔父で出田氏を継いでいた親基(出田一要)が久基の後見となる。豊臣秀吉の九州征伐が開始されると島津氏と袂を分かち、天正15年(1587)、久基は隈本城を開城。隈本城は収公され久基は大坂に召し出された。

佐々成政・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(さっさなりまさ)

- ・ 永正13年(1516)～天正16年(1588)。尾張(現愛知県)生まれ。初め織田信長に仕え、後柴田勝家の家来となる。賤ヶ岳の戦い、小牧・長久手の戦いで敗れて、豊臣秀吉に降伏。天正15年(1587)に肥後一国の領主となる。その後肥後国全体で国衆一揆が起き、失政を問われて所領没収の後に切腹した。

城郭・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(じょうかく)

- ・ 領地を武力で治めるために築かれた拠点。そのため防衛上の工夫が凝らされることになり、石垣を用いるなどして堅固になっていった。

改易・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(かいえき)

- ・ 所領や家禄・屋敷を没収すること。

細川氏・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(ほそかわし)

- ・ 細川家は室町幕府将軍足利家に仕え、初代幽斎はのちに織田信長・豊臣秀吉・徳川家康に

重用された。寛永9年(1632)、3代忠利が加藤家に代わって熊本藩主となり、その後13代詔邦まで239年にわたって熊本藩を治めた。

熊本鎮台・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(くまもとちんだい)

- ・ 明治4年(1871)に全国四鎮台の一つとして設置された鎮西鎮台に始まる近代日本陸軍の地方拠点で主に九州を管轄した。明治6年(1873)に熊本鎮台、同21年(1888)に第六師団と改称した。

熊本城址保存会・・・・・・・・・・・・P.9

(くまもとじょうしほぞんかい)

- ・ 現在の熊本城顕彰会の前身組織。昭和2年(1927)民間を中心に熊本城の保存と顕彰を目的として設立。

国宝保存法・・・・・・・・・・・・P.9

(こくほうほぞんほう)

- ・ 古社寺保存法(こしゃじほぞんほう、明治30年(1897)6月10日)を引き継いで制定された、日本の文化財保護に関する法律。昭和4年(1929)7月1日施行。昭和25年(1950)8月29日、文化財保護法施行に伴い廃止された。

国史跡・・・・・・・・・・・・・・・・P.9

(くにしせき)

- ・ 文化財保護法における遺跡のうち、重要なものを文部科学大臣が「史跡」として指定したもの。

文化財保護法・・・・・・・・・・・・P.9

(ぶんかざいほごほう)

- ・ 文化財を保存し、その活用を図って国民の文化的向上に資する目的の法律。昭和25年(1950)8月29日施行。

熊本城復元整備計画・・・・・・・・・・P.9

(くまもとじょうふくげんせいびけいかく)

- ・ これまでの熊本城の整備にかかる答申や報告、提言や意見を踏まえ、平成9年度熊本市策定。

木造単層・・・・・・・・・・・・・・・・P.10

(もくぞうたんそう)

- ・ 木造平屋の建物。

本瓦葺・・・・・・・・・・・・・・・・P.10

(ほんかわらぶき)

- ・ 平瓦と丸瓦を交互に組み合わせた葺き方。寺

院建築や城郭建築をはじめとするわが国の伝統的な建造物には本瓦葺が多く用いられている。

櫓・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.10

(やぐら)

- ・ 城郭の要所に設けられ、防御を担った建物。多層化し周囲に目配りするために築かれた高櫓もある。

国指定重要文化財・・・・・・・・・・P.10

(くにしていじゅうようぶんかざい)

- ・ 日本に所在する建造物、美術工芸品、考古資料、歴史資料等の文化財のうち、歴史上・芸術上の価値の高いもの、または学術的に価値の高いものとして文化財保護法に基づき文部科学大臣が指定した文化財を指す。

櫓門・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11

(やぐらもん)

- ・ 門の上に櫓を設けた城門。階下が城門、階上が櫓となる。

土塀・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11

(どべい)

- ・ 城郭で遮蔽物として用いられた塀。親柱を建てその間を土壁とし、矢や鉄砲のための隙間(狭間)を設けて防御に用いた。

県指定重要文化財・・・・・・・・・・P.11

(けんしていじゅうようぶんかざい)

- ・ 国指定の文化財以外の文化財について、熊本県が重要なものと指定した建築や美術品等の文化財。熊本県条例ではそれを「重要文化財」としている。

刑部少輔興孝・・・・・・・・・・P.11

(ぎょうぶしょうゆうおきたか)

- ・ 刑部家は熊本藩主細川忠利の弟興孝を初代とする分家。興孝は、元和 3 年(1617)に細川忠興の六男として豊前国に生まれ、寛永 16 年(1639)に刑部少輔に任じられた。正保 3 年(1646)に 2 万 5 千石を拝領し、古京町に本邸を築いた。

下屋敷・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.11

(しもやしき)

- ・ 武家屋敷で、本邸に対して、郊外などに構えた別邸。

官報告示・・・・・・・・・・P.12

(かんぼうこくじ)

- ・ 日本国の機関紙である「官報」に、必要な事項を公示する行為のこと。

都市計画決定・・・・・・・・・・P.12

(としけいかくけつてい)

- ・ 都市計画には、地域地区、都市施設、市街地開発事業などさまざまなものがあるが、そのいずれもが地域の土地利用や地域の発展に大きな影響を及ぼすので、都市計画を決定するにあたっては詳細な手続きが法定されている。

棟札・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.14

(むなふだ)

- ・ 建築物の建立や修復などに際して、記録・祈念として、棟木・梁などに取り付けたりした札。建造や修理の目的を記した趣旨や年月日、建築主・大工名などの建築記録となる。

土蔵・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.18

(どぞう)

- ・ 外壁などを土や漆喰で塗った倉庫。

漆喰・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.18

(しっくい)

- ・ 瓦や石材の接着や目地の充填、壁の上塗りなどに使われる、消石灰を主成分とした建材。

曲輪・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.24

(くるわ)

- ・ 軍事的・政治的な意図を持って、切土・盛土で造られた平面空間。郭、丸は同義語。

根石・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.24

(ねいし)

- ・ 石垣の基礎部分にある石材。

石塁・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.24

(せきるい)

- ・ 城の防御施設の一つ。石を積み上げて構築した遮断壁の一つ。

穴蔵・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.24

(あなぐら)

- ・ 階層としては地階(ちかい)に含まれる。城郭建築においては、櫓台・天守台、御殿など大型の建物の地下に造られる。主に備蓄倉庫としての役割を持っていた。

闇り通路・・・・・・・・・・P.24

(くらがりつうろ)	
・ 熊本城の本丸御殿の地下通路のこと。出入口となる「闇御門（くらがりごもん）」から付けられた仮称。	
隅石	P.24
(すみいし)	
・ 出隅となる石垣の角に用いられる石材。初期の石垣には他の石材より大きい石が用いられている。高石垣の発展により、直方体の大面と小面を交互に積み上げる技法（算木積み）となった。	
詰石	P.24
(つめいし)	
・ 石垣の石材の隙間を埋める小さな石材。間詰石とも言う。	
不陸	P.25
(ふりく)	
・ 平らでなく凹凸があること。切取り、盛土などの路盤面や床、壁が平らでない場合をさす。	
修理銘	P.25
(しゅうりめい)	
・ 棟札を含む建築の修理を記録した銘文。	
修理願い	P.25
(しゅうりねがい)	
・ 江戸幕府に対し、城郭の石垣や建物修理を願い出ること。	
櫓台	P.25
(やぐらだい)	
・ 櫓が載っている石垣、あるいは土壇のこと。	
隅角	P.25
(ぐうかく・すみかど)	
・ 石垣の隅角部分で、算木積みなど石垣構築の特徴が最もよく現れる箇所。	
裏込栗石	P.25
(うらごめぐりいし)	
・ 石垣の築石の背後に充填された小礫・砂利層で形成されている。築石が背面から受ける土圧の緩衝機能や、背面の盛土や地山からの湧水を石垣基部へと排水する機能を持っている。	
角石	P.25
(かどいし)	
・ 隅石に同じ。	

連続虎口	P.25
(れんぞくこぐち)	
・ 堀や石垣、土塁によって進路の屈曲を連続させること。死角をなくして敵の侵入を阻止し、防御しやすくする。	
間詰石	P.25
(まづめいし)	
・ 石垣の主たる構築材となる石材の間の隙間を埋める石材。熊本城の築城初期には隙間が大きく、大小の割石を丁寧に詰めている。	
山崎口	P.25
(やまざきぐち)	
・ 竹の丸の西側出入口。	
隅部	P.26
(すみぶ)	
・ 石垣面と石垣面が接する部分。	
通路開鑿	P.26
(つうろかいさく)	
・ 明治時代の陸軍が車両通行のために城郭の一部を改変したこと。	
間知石	P.26
(けんちいし)	
・ ある一定の大きさに揃うように割り整えた立方体の石材。江戸時代前期の寛永年間頃から盛んに用いられるようになる。	
石柵	P.26
(せきさく)	
・ 石製の柵状構造物。	
絵図	P.26
(えず)	
・ 近代以前に描かれた地図類の総称。土地・庭園等の平面図のほか、建築の見取図も絵図と呼んだ。	
大手口	P.26
(おおてぐち)	
・ 城の正面入口のこと。追手口とも呼ばれて防衛のためその出入り方法については様々に工夫された。	
四阿	P.32
(あずまや)	
・ 庭園などに眺望、休憩などの目的で設置される簡素な建屋のこと。	

第3章 復旧方針

熊本城ホール・・・・・・・・・・P.42

(くまもとじょうほーる)

- ・ 熊本桜町地区第一種市街地再開発事業の中でバスターミナル、商業施設等と一体的に整備されている、国際会議や学会、展示、イベント等の多様な利用に対応する施設。

国際スポーツイベント・・・・・・・・・・P.43

(こくさいすぽーついべんと)

- ・ 2019 年に熊本県で開催された 2019 女子ハンドボール世界選手権大会 (2019.11.30～12.15) 及びラグビーワールドカップ 2019 (2019.9.20～11.2) のことを指す。

文化財的価値・・・・・・・・・・P.43

(ぶんかざいてきかち)

- ・ 文化財的価値には、主に以下の価値基準が存在する。美的価値、精神的価値、社会的価値、歴史的価値、情動的価値、本物としての価値。専門家によって容認された専門的基準によって評価される。このように文化財は文化財的価値を有していて、経済的価値発生を動機づける基盤にもなっている。

城主制度・・・・・・・・・・P.44

(じょうしゅせいど)

- ・ 平成 28 年熊本地震により被害を受けた熊本城の復旧財源とするための寄付を募り、1 回 1 万円以上の寄付をされた個人・法人・団体を「復興城主」とし、「城主証」等の返礼品を発行する制度のこと。

練石積工・・・・・・・・・・P.45

(ねりいしづみこう)

- ・ 石積の裏側や目地にモルタルを用いて石を積む方法。

遺構・・・・・・・・・・P.45

(いこう)

- ・ 過去の建築物、工作物、土木構造物などが後世に残された状態、言い換えれば過去の人類の活動の痕跡のうちの不動産的なものを指す。

意匠・・・・・・・・・・P.46

(いしょう)

- ・ デザイン。物品のより美しい外観、使ってより使い心地のよい外観。

防火対策ガイドライン・・・・・・・・・・P.46

(ぼうかたいさくがいどらいん)

- ・ 文化庁が、総合的な防火対策の検討・実施に資するよう、消防庁、国土交通省と連携の下で作成した「国宝・重要文化財（建造物）の防火対策ガイドライン」のこと。

バリアフリー・・・・・・・・・・P.47

(ばりあふりー)

- ・ 障がい者や高齢者等が、健常者と同様に社会生活に参加するうえで、支障となる物理的な障害や精神的な障壁を取り除くための施策。もしくは具体的に障害を取り除いた事物、状態。

深礎杭・・・・・・・・・・P.48

(しんそくい)

- ・ 建物重量を地中の支持層に伝達する役目を担う杭を地中深く施工する杭工法の一種。

標準工程・・・・・・・・・・P.54

(ひょうじゅんこうてい)

- ・ 発掘調査や解体工事などの、櫓・石垣の復旧完了に至るまでに行う標準的な作業項目の一覧の流れのこと。

地質調査・・・・・・・・・・P.54

(ちしつちょうさ)

- ・ 学術的な目的や資源探査等産業関連の目的のために地下構造（地質）を解明するため行う調査のこと。

確認調査・・・・・・・・・・P.54

(かくにんちょうさ)

- ・ 遺跡が存在する土地の範囲・性格などの概要を把握するために行う部分的な調査。

発掘調査・・・・・・・・・・P.54

(はくつちょうさ)

- ・ 遺跡を掘削して遺構と遺物の存在状況を把握し実測図や写真に記録するための調査。

三次元レーザー測量・・・・・・・・・・P.55

(さんじげんれーざーそくりょう)

- ・ 3 次元座標 (X,Y,Z) やカラー情報、反射率など、各点ごとに複数の情報を取得する測量。複雑な形状でも測量が可能であり、建築や土木設計のための資料となる。

写真測量・・・・・・・・・・P.55

(しゃしんそくりょう)

- ・写真に基づいて、地表構造物などの被写体の判定、その大きさや形などの測定を行うこと。

築石・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.55

(つきいし)

- ・石垣の外面を構成する主要構造材。自然のままの野面石（のづらいし）や人工的に分割した割石、表面を整形した切石などがある。

標準工期・・・・・・・・・・・・・・・・P.57

(ひょうじゅんこうき)

- ・復旧の作業項目ごとに必要となる所要時間、工区ごとの復旧期間を算出するための基準となる工期。

コンサルタント・・・・・・・・・・P.58

(こんさるたんと)

- ・ある事柄について相談・助言・指導を行う専門家。本計画では土木設計や測量、文化財調査などのエキスパートを指す。

第4章 施策と具体的な取り組み

ライフライン・・・・・・・・・・P.65

(らいふらいん)

- ・電気・ガス・水道等の公共公益設備や電話やインターネット等の通信設備、圏内外に各種物品を搬出入する運送など、人々が日常生活を送るうえで必須の諸設備のこと。

部材保管庫・・・・・・・・・・P.67

(ぶざいほかんこ)

- ・平成 28 年熊本地震で被害を受けた熊本城内の建造物の部材を、復旧工事に向けて一時的に保管するための格納庫のこと。

ヤード・・・・・・・・・・P.68

(やード)

- ・「仕事場」「置き場」などと訳される。熊本城では、工事で使用する敷地や、石材や建造物。

土のう・・・・・・・・・・P.70

(どのう)

- ・土や砂を詰める袋。水害などから被害拡大を防ぐために、臨時的、応急的に用いる。大型土嚢は石垣の前倒れ防止に用いることがある。

カゴ式擁壁・・・・・・・・・・P.70

(かごしきようへき)

- ・余震等で万が一落石が発生しても、園路に到

達させないことを目的として、園路の傍に設置した仮設の落石防護擁壁のこと。熊本城の場合は、崩落した石垣の裏栗石を中詰めして、復旧までの仮置場を兼ねている。

ドローン・・・・・・・・・・P.73

(どろーん)

- ・無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる航空機の総称をいう。

矢穴・・・・・・・・・・P.73

(やあな)

- ・石材を矢(クサビ)によって割るための穴で、割った石材には矢穴の痕跡が残る。

非破壊調査・・・・・・・・・・P.73

(ひはかいちょうさ)

- ・対象物を壊さずに、表面や内部の損傷、また劣化の状況等を調べる調査手法。レーダー探査や弾性波探査など。

ボーリング調査・・・・・・・・・・P.74

(ぼーりんぐちょうさ)

- ・ボーリングマシンで地盤に孔(あな)を掘り、地中の土や岩を掘り出し、試料(コアサンプル)を採取する調査のこと。様々な地盤調査をあわせて行い、地盤の特性を推定する。

地盤調査・・・・・・・・・・P.74

(じばんちょうさ)

- ・物理探査や打撃試験、試料の採取、載荷試験、土質試験など、構造物などを建てる際に必要な地盤の性質の把握などを目的として行う調査。

躯体・・・・・・・・・・P.76

(くたい)

- ・床や壁、柱、梁、屋根など建物の構造を支える骨組のこと。

技術提案・交渉方式・・・・・・・・P.76

(ぎじゅつていあん・こうしょうほうしき)

- ・「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」(平成 26 年(2014)法律第 56 号)において、仕様の確定が困難な工事に対し、技術提案の審査及び価格等の交渉により仕様を確定し、予定価格を定めることを可能とする「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式」のこと。

ブレース・・・・・・・・・・・・・・・・P.81

(ぶれーす)

- ・ 柱と柱の間に斜めに入れて建築物の構造を補強する部材のこと。「筋交」「筋違」ともいう。

オイルダンパー・・・・・・・・・・P.81

(おいるだんぱー)

- ・ 油の粘性を利用して衝撃や振動をやわらげる装置のこと。

摩擦ダンパー・・・・・・・・・・P.81

(まさつだんぱー)

- ・ 強風や地震で建物が揺れたとき、走行中の車がブレーキをかけるようにステンレス板と摩擦板の間で摩擦力が発生し、揺れのエネルギーを吸収する制振装置。

防火区画・・・・・・・・・・P.81

(ぼうかくかく)

- ・ 建築基準法で定められた、火災時に炎が燃え広がることを防ぐための区画。

竪穴区画・・・・・・・・・・P.81

(たてあなくかく)

- ・ 建築基準法施行令第 112 条第 9 項に定める防火区画の一種。吹抜けや階段など、複数の階にわたり連続する空間を区画したもの。

制振・・・・・・・・・・P.81

(せいしん)

- ・ 建築設計上の概念で、建物に入力される地震力を、建物内部の機構により減衰させたり増幅を防いだりすることで、建物の振動を低減させることを指す。

炭素繊維シート・・・・・・・・・・P.82

(たんそせんいしーと)

- ・ 軽量で強度、防錆性、防食性に優れる炭素繊維を配列したシート。鉄筋コンクリート構造物等の躯体表面に接着することで、せん断耐力、曲げ耐力、疲労寿命の向上、ひび割れ抑制などの効果が期待できる。

架構・・・・・・・・・・P.84

(かこう)

- ・ 骨組みとなる部材を結合して組み立てた構造物のこと。

湿式工法・・・・・・・・・・P.85

(しっしきこうほう)

- ・ モルタルやコンクリート、土壁、石膏、漆喰

など水を使い、乾燥させたり化学変化を利用して硬化させたりして仕上げる工法。

乾式工法・・・・・・・・・・P.85

(かんしきこうほう)

- ・ 湿式工法と異なり、水を必要とする材料を使わずに建築物を施工する工法。

棧・・・・・・・・・・P.85

(さん)

- ・ 板が反るのを防ぐために、打ちつけたり差し込んだりする横木のこと。横方向に組まれている棧を横棧、縦方向に組まれている棧を縦棧という。ここでは瓦を野地板にとどめる棧のことを指す。

ユニバーサルデザイン・・・・・・・・P.86

(ゆにばーさるでざいん)

- ・ 障がいの有無や年齢、性別、国籍などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考え方。

オープンハウス・・・・・・・・・・P.88

(おーぶんはうす)

- ・ パネルの展示やリーフレット等資料の配布により、事業の進め方に関する情報を提供すること。行政が内部（インハウス）で検討している内容を一時的に公開（オープン）することから、オープンハウスと呼ばれる。

ワークショップ・・・・・・・・・・P.88

(わーくしょっぷ)

- ・ 地域にかかわるさまざまな立場の人々が自ら参加して、地域社会の課題を解決するための改善計画を立てたり、進めていく共同作業のこと。

レプリカ・・・・・・・・・・P.88

(れぷりか)

- ・ 原作の写しのこと。複製品ともいう。

AR・・・・・・・・・・P.88

(えーあーる)

- ・ Augmented Reality の頭文字で一般的に「拡張現実」と訳される。実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ね、目の前の世界を仮想的に拡張する技術のこと。

くまもとお城まつり・・・・・・・・・・P.111

(くまもとおしろまつり)

- ・ 特別史跡熊本城跡で春と秋に継続して開催しているイベント。市民はもとより、国内外の多くの方々に歴史と伝統に培われた熊本城で日本の文化に触れ、関心を持っていただくことで、貴重な文化財としての理解を深めていただく機会としている。

素屋根・・・・・・・・・・P.113

(すやね)

- ・ 建造物の解体や組立ての工事にあたり、木材等の部材を雨から守り濡らさないように作業するため、建造物を覆う仮設建造物の屋根。

ライブカメラ・・・・・・・・・・P.114

(らいぶかめら)

- ・ カメラなどの撮影機材から、ネットワーク上に風景などの映像をリアルタイムで配信するサービスのこと。

プロジェクションマッピング・・・・・・・・P.114

(ぷろじえくしょんまっぴんぐ)

- ・ コンピューターで作成した CG とプロジェクタのような映写機器を用い、建物や物体、あるいは空間などに対して映像を映し出す技術のこと。

VR・・・・・・・・・・P.114

(ぶいあーる)

- ・ Virtual Reality の頭文字で一般的に「仮想現実」と訳される。コンピューターによって作られた仮想的な世界を、あたかも現実世界のように体験できる技術のこと。

SNS・・・・・・・・・・P.115

(えすえぬえす)

- ・ Social Networking Service (ソーシャルネットワークワーキングサービス) の略。インターネット上で利用者が交流して社会的関係を構築するサービスの総称。

限界耐力計算法・・・・・・・・・・P.123

(げんかいたいりょくけいさんほう)

- ・ 建築物が地震発生時に、その地震力にどこまで耐えられるかという指標を計算すること。

時刻歴応答解析法・・・・・・・・・・P.123

(じこくれきおうとうかいせきほう)

- ・ 時刻経過に伴うリアルな地震波を使って地震

時における建物の各階の揺れの幅やスピードを正確に予測し、より精密な解析を行う構造計算方法。主に高層建築物等に用いられる。

無人化重機・・・・・・・・・・P.123

(むじんかじゅうき)

- ・ 工事のエリアに、作業員やオペレータなどを入れず、無線により遠隔操作できる工事用重機のこと。土石流、斜面崩壊、雪崩や地震による被災箇所など、工事に危険が想定される箇所での活用が期待される。

ジオテキスタイル工法・・・・・・・・・・P.126

(じおてきすたいこうほう)

シート状の補強材を石垣の内部に敷設して、補強材の引抜き抵抗力によって石垣全体の安定性を向上させる工法。

文化財防火デー・・・・・・・・・・P.127

(ぶんかざいほうかデー)

- ・ 毎年 1 月 26 日。昭和 24 年 1 月 26 日に法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づく。昭和 30 年に当時の文化財保護委員会と国家消防本部が定め、文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図っている。

震災遺構・・・・・・・・・・P.132

(しんさいいこう)

- ・ 震災が原因で倒壊した建物などの構造物を、次世代に被災の記憶や教訓を伝えるために取り壊さないで保存しておくこと。

日本財団・・・・・・・・・・P.136

(にっぽんざいだん)

- ・ 公益財団法人日本財団。競艇の収益金をもとに、海洋船舶関連事業の支援や子ども支援、障がい者支援、災害復興支援、公益・福祉事業、国際協力事業などを行なっている公益財団法人。

第5章 計画の実現に向けて

順応的管理・・・・・・・・・・P.141

(じゅんのうてきかんり)

- ・ 未来予測の不確実性をあらかじめ管理システムに組み込み、目標を設定し、計画がその目標を達成しているかをモニタリングにより検

証しながら、その結果にあわせて柔軟に対応
して行く管理手法。